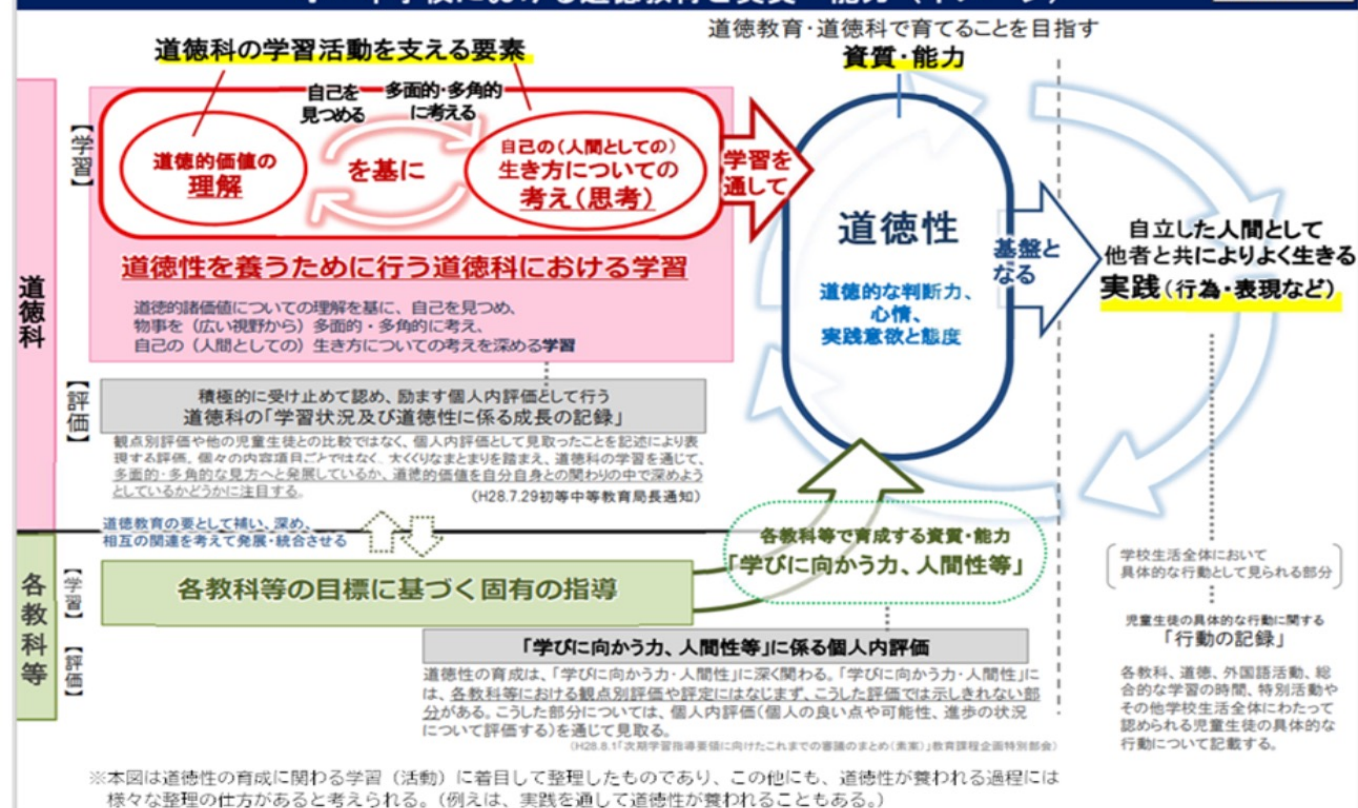


特別の教科 道徳

小・中学校における道徳教育と資質・能力（イメージ）

別添16-2



出典：幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）（中教審第197号）

道徳科の授業におけるICTの効果的な活用

一般的な道徳科の学習指導過程におけるICT活用例

段階	学習の目的	主な学習活動	ICTの活用例
導入	・実態や問題を知る。	・道徳的価値について、問題意識をもつ。	・実態や問題の提示 (画像や映像、グラフ等)
展開	・教材を活用して、道徳的価値を理解し、よりよい生き方を考える。	・自分自身との関わりで考える。 ・多面的・多角的に考える。 ・自己の(人間としての)生き方についての考えを深める。	・教材の提示 (画像や映像等) ・自分の考えをもつ (ICT端末に示す) ・他者の考えを知る (ICT端末に共有する) (表やグラフ等) ・話し合う(直接的な対話) ・自己を見つめる (ICT端末に蓄積する)
終末	・よりよい生き方の実現への思いや願いを深める。	・道徳的価値についての自己実現への意欲を高める。	・生活の様子の提示 (画像や映像等) ・外部の方の言葉の提示 (画像や映像等)

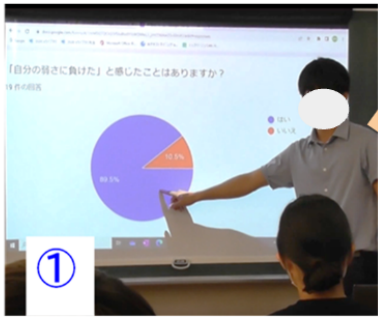
出典：GIGA スクール構想のもとでの特別の教科道徳の指導について（文部科学省）

学年・主題名：中学校3年・「内なる自分に恥じない生き方とは」
教材名・内容項目：「足袋の季節」・D(22)よりよく生きる喜び

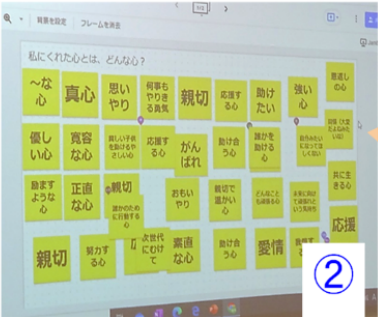
見方・考え方：自分との関わりで考えたり様々な見方で捉えて考えたりすること
ICTの活用：自己の内面を言語化し、多様な感じ方や考え方を把握する
学習場面：問題意識をもつ場面・他者と対話する場面

「終末」に至るまでの流れ

問題意識をもち、自分との関わりで捉えて考えたり、多面的・多角的に考えたりして、自らを振り返り、自己の生き方についての考えを深める。



写真① 事前に、生徒全員に「自分の弱さに負けたと感じる時があるか」について意識調査を行った。アンケートツールを用いることで、多数派の影響を受けず、少数派の生徒も意思表示をすることができる。調査結果のグラフを見たS生は、「自分が弱さに負けたのは大会の試合中だったけれど、他の人はどんな時だろう」と自分を振り返るとともに、友の考えへの関心を高めていた。



写真② 「おばあさんが私にくれた心」とはどのようなものかを考え、S生は、付箋ツールに「真心」「寛容な心」と入力した。その後、クラウド上で共有された友の意見を参考にして自己の見方を膨らませ、「恩返し的心」と追記した。



写真③ 「おばあさんが私にくれた心」について、入力された全員の意見を見ながら班で話し合う場面で、S生は画面上で見つけた「がまん」という考えに立ち止まる。自分の中にある視点に触れたことで、多様な考え方への関心が高まり、友と話し合うことの活性化につながった。

この事例のポイント

- ・ アンケートツールを活用し、全員に、本時の主題について自己を見つめる動機づけを行い、問題意識をもつことにつなげている。
- ・ 登場人物を自分に置き換えて心の内面を言語化することで、自分の心を見つめたり、多様な感じ方や考え方を把握したりしている。
- ・ 多くの多様な感じ方や考え方を参考にして、多面的・多角的に考えを発展させている。